

須藤蓮 × 共同脚本 渡辺あやが贈る待望の監督第2作

「逆光」「First Love 初恋」

「ジョゼと虎と魚たち」
「エルビスー希望、あるいは災い」

2021年、広島・尾道から上映を開始し、シネマ尾道初週動員数歴代1位を記録、さらに台北金馬映画祭正式出品作品にも選ばれた須藤蓮の監督デビュー作映画「逆光」。

実は「逆光」に先駆けて企画が進んでいたのが本作『ABYSS アビス』である。

コロナ禍により渋谷を舞台にした『ABYSS アビス』は志半ばで制作は休止、

その代わり尾道で撮影をした『逆光』が先に世に出ることになったのだ。

そして今『ABYSS アビス』は須藤蓮の本当の処女作として完成。

圧倒的な映像美と辻田絢菜による音楽で魅せる、

26歳・須藤蓮が等身大で現代の渋谷を描く、感性光る作品となった。

ヒロイン役には期待の新人、佐々木ありさが抜擢され、圧倒的な透明感と体当たりの演技に挑戦。

周りを固める俳優たちのリアルで骨太な演技にも注目してほしい。



観るものを圧倒する鮮やかな映像美と音楽で体感する、残酷なほどに純粋な魂の恋物語。

渋谷のバーでバイトをしながら暮らす23歳のケイ。

ある日、行方不明だった兄が故郷の海で自殺したと報せが届く。

葬儀でかつて兄に乱暴されていた女ルミと出会い、ケイは強く惹かれていく。

その後、偶然の再会をした二人、傷つくケイに手を差し伸べたのはルミだった。

ケイはルミに安らぎを覚え、ますます想いを強くする。しかしあるとき、

ケイにルミの全てを知られることになり、ルミはケイの目のまえから姿を消した。

しばらくして突然ケイの元に戻ってきたルミは身も心も傷だらけだった——。

そこから二人の逃避行が始まる。

誰もが心の奥底にもつ破滅願望。

それは希望となり“海の日”へと導く。



HP: <https://abyss-movie.jp>



@abyss_fol_film



abyss_fol_film

この恋と、
沈むだけ。

ABYSS

アビス

須藤蓮 佐々木ありさ 夏子 松本亮 浦山佳樹 三村和敬 二ノ宮謙太 | 監督：須藤蓮

脚本：須藤蓮／渡辺あや（共同脚本） | 音楽：辻田胸菜 | 音楽アドバイザー：岩崎太整 | エグゼクティブプロデューサー：小川真司

製作：柳裕淳、渡辺あや、國枝祐希、須藤蓮 | プロデューサー：須藤蓮、有馬嶺 | アソシエイトプロデューサー：上野遼平 | ラインプロデューサー：石塚洋平 | 撮影：須藤しくま | 照明：寺本慎太郎 | 録音：五十嵐猛史
衣装：高橋達之真、木和田昂 | 美術：片平圭衣子 | ヘアメイク：藤原玲子 | 助監督：田中諭 | 制作担当：赤間俊秀 | 制作協力：エル・エー | 制作プロダクション：ブリッジヘッド | 製作：2023ABYSS製作委員会 | 配給：FOL

カラー/シネマスコープ/115分